

**センター試験まであと7週余り**

平成31年1月19日(土)・20日(日)に実施される大学入試センター試験まで残り約50日。3年生はいよいよセンター試験対策演習に本格的に取り組んでいくことになる。センター試験では、「時間内に解く」「正確にマークする」ことが求められる。日頃から時間を常に意識して演習に臨み、時間内に解き切るスピードをつけていこう。同時に、1つ1つの問題に対して、自分が何を間違えたのかを確実に分析し、理解の穴を1つ1つ埋めていこう。右に示した「セルフティーチング」も役に立つだろう。

今が一番苦しいときだろうが、「栄光への途中」と思っ  
て、一步一步着実に歩みを進めていこう。

**受験勉強はいつから? ～1・2年生～**

1・2年生の皆に尋ねる。受験生になるのはまだまだ先だと思っていないだろうか? 1年生は、文理選択が自分を見つめ直し、受験や進学先について真剣に考える機会になったはずだ。ありきたりな表現だが、2年生は「3年0学期」を控えている。このタイミングを、ぜひ「受験勉強」を始めるきっかけにしてほしい。

受験勉強とは、センター試験や二次試験の過去問に取り組むことではない。毎日の学習に、「今やっていることが受験につながるんだ」という意識で臨むことこそが、まさに受験勉強なのだ。そして周りの人よりも一歩先にそれを始めることが、志望大学合格への第一歩となる。それでは、受験に向けて今からできることは何か。

**①目指す進路を具体的に調べる**

難易度だけでなく、その大学で何が学べるのか、まずは「知る」ことが大事。

**②目標達成のためのスケジュールを組む**

模試や考査の結果をもとに、「宿題だから勉強する」から「必要な学力をつけるために勉強する」への転換を。

**③授業で勝負、そのための予習復習を徹底する**

受験で問われる内容はすべて授業の中にある。授業を軽視した学習はもっとも効率が悪い。

特別なことは何もない。学校の授業を中心にした生活リズムを作り、それを実行するだけである。

**セルフティーチング**

進路指導室便り10月号でほんの少し触れた「セルフティーチング」について、詳しく紹介する。

繰り返し復習することの重要性は皆がよく知っている。しかし、この「繰り返し」という言葉を、単なる「解き直し」と理解している者が多い。「何度も繰り返したのに定着しない」ことの原因が、ここにある。理解があやふやなまま、漫然と反復練習を積んでも、その解法や知識を応用させることはできない。

本当に意味のある復習のポイントは2つ。「説明」、そして「発声」である。

**①計算問題のポイントを「自分に説明する」(数学・理科)**

理系科目の復習を積む上で大事なことは、「どのポイントに着目すれば、答えを出すことができるか」ということ。解き始める前に、例えば、「この問題は、面積比を線分比として計算すること!」と、実際に声に出して説明した後、手を動かして「解法の再現」に取り組んでみよう。

**②読解問題の解答根拠を「自分に説明する」(英語・国語)**

英語や国語の復習のポイントは、「解答根拠が説明できるかどうか」ということ。例えば、記号問題の正誤に一喜一憂するのではなく、「この設問の解答根拠は、本文のこの部分(指をさしながら)で、itがさらにこの部分を指しているから、この設問の解答は、エ!」と、声に出して説明してみよう。英語や国語は、文章の内容が変わっても、「試される力」は「抽象化」「因果把握」「対立把握」の3つだけである。

**③人名・出来事の背景を「自分に説明する」(社会[歴史])**

大事なことは、「人名・出来事の背景をどれだけ理解しているか」ということ。そのための方法が「『逆』一問一答」。例えば、「享保の改革の後、商人の力を利用して幕府の財政を立て直そうとした老中は誰ですか?」という問いに、「田沼意次」と答えるのが一般的な一問一答ですが、「田沼意次」という言葉を見て、「享保の改革の後、商人の力を利用して幕府の財政を立て直そうとした老中である」と自分の言葉で説明してみる。難易度は高いが、用語一語一語に対する理解は確実に深まり、また記述問題への対応力も飛躍的に向上することだろう。

【参考: <http://www.ring.brigh10.jp/column/column-8755/>】

## 2年前、赤組(53期生)と国内体験学習で東京ディズニーランドを訪れた時のことです・・。

2年前。今春卒業した赤組メンバー（53期生）と、国内体験学習で東京ディズニーランドに行きました。国内体験学習を終えて鹿児島に戻ると、千葉県在住の本校2期生方から封書が届きました。たまたま訪れた東京ディズニーランドで、鹿児島中央高校の女子の制服を見かけ、「あまりの懐かしさに写真に撮らせて頂いたので、修学旅行の思い出として、後輩達にお渡し下さい。」と、丁寧な書面に多くの写真が添えられてありました。

故郷・鹿児島から遠く離れた千葉県で、偶然見かけた母校の制服や後輩達の楽しそうな姿。高校卒業後50年経っても変わらない制服を見た時の、**卒業生の母校に対する想い**はどれ程だったのでしょうか・・。

## 10月末の鹿児島中央高校関東同窓会・珊瑚樹会で、正門での門礼が絶賛されました。

10月末。東京で開催された鹿児島中央高校同窓会・珊瑚樹会で、長校長先生が本校の現状報告の中で正門での門礼の話をされた時、多くの卒業生の方々が大変感激して、「**そんな高校生は、是非うちの会社に来て欲しい。**」と大絶賛して下さったそうです。ちなみに、卒業生の方々は大企業の会長や社長等、要職に就いている方々が多く、後輩達の姿を嬉しく、また誇らしく思ったとのことでした。

同時期、全国の農業高校が集う全国大会が鹿児島市で開催されました。県外から来られたある高校の校長先生が、たまたま本校の近くを通りかかった時、鹿児島中央高校生の挨拶や正門での門礼を見て感心して、思わず校内に足を踏み入れられたそうです。すると、多くの生徒達から元気よく爽やかな挨拶をもらい、本当に感動して、地元に戻った時、本校の挨拶の話をして下さったそうです。「**鹿児島中央高校生にとってのあたりまえ**」ですが・・。

## これからの就職試験で、企業が求める人材とはどのような人物なのでしょう？

先日、現在の大学1年生から就職試験の解禁時期が変わり、年間を通して入社を受け付けられるようになるとの報道がありました。これによって、企業はいつでも優秀な人材を確保できることになります。逆に言えば、自分自身が入社を希望した時、すでに企業側は採用人数を満たしているという事態もありえます。最近では、入社試験時のエントリーシートに大学名の記入欄が無い企業もあると聞いています。つまり、これからの社会は、出身高校や在籍大学名などの「**学歴やブランド力**」でなく、その受験生が「**どんな人物**」であり、「**今まで何をやって**」きて、「**これから何ができるか**」ということに、重点が置かれる傾向が強くなることを意味しています。

## これからの社会は、挨拶やコミュニケーションだけで十分という訳ではありません・・。

さて、人間は社会的な動物です（廣瀬説）が、立派な挨拶で愛想良く、コミュニケーション能力に優れていれば十分と言う訳ではありません。いくら挨拶が妙に丁寧でも、頼んだ仕事が手抜きだったり、約束の期限を厳守できなければ、すぐに信用を失い、ただの慇懃無礼（いんぎんぶれい）ということになります。

皆さんは**SSH1期生**ということで、探求活動やプレゼンテーションの機会も多く、忙しい高校生活の中でその活動に真摯に取り組んでいます。自分（＝廣瀬）の高校時代などとは比べものにならないくらい、体育館でパワーポイントやポスターを活用して、堂々と発表する姿を頼もしく思います。

**挨拶や礼儀正しさ、物事に真摯に取り組む姿勢、コミュニケーション能力などの人間性や健康**に加えて、**思考力や創造力、計算力や語学等の基礎学力等**が伴ってくれば、皆さんは更に伸びていくと思います。「**読書の秋**」「**芸術の秋**」「**学習の秋**」、足を地に着けて、じっくりと取り組んで欲しいものです・・。

2 年生になって半分以上が過ぎましたね。来月には待ちに待った「国内体験学習」がやってきます。私は行けませんが・・・(泣)。高校生活の良い思い出になるように楽しんできてください。さて、そんなこんなしているうちに君たちはあっという間に 3 年生になります。すでに高校生活が半分以上過ぎています。この貴重な一日一日をどの様に過ごしていますか？なんと～く過ごしてはいませんか？ある本でこんな式を見たことがあります。**学び/体験=学習率**。みなさんはこの式を見て「学習率」が高い人はどのような人かわかりますか？

私は高校生のとき、「生物」が一番得意科目！・・・ではありませんでした。どちらかというと化学の方が好きでしたし得意でした。当時の私にとって生物は覚えれば解けるものと思って授業も聞いてはいましたがテスト前に用語確認すればいいや・・・という気持ちで受けていました。だから定期考査は問題なかったのですが、模試になると見たことのない問題に手が止まり、全然点数を取ることができていませんでした。**私は生物を「暗記物」と勝手に決め込み**、授業も用語の確認のような受け方になって、本当の意味で理解していなかったのです。同じ覚えるでもただただ何度も書いて機械的に覚えるのと、その言葉の使われ方、例題、生物なら体内の反応の流れから他の部位との関連性など、いろいろなことを絡めて理解した上で覚えるのでは全然違います。同じ 1 時間も授業の受け方しただけで人はより深い**学びの時間**にも出来るし、何も考えず受け身に過ごすことで**ただ授業をうけた気になっているだけの時間**にもなります。私は後者だったがために本当の意味で「学習」できていなかったんだと思います。

みなさんはこれまでいろいろな体験をしてきたはず。これからある国内体験学習もあらゆることを学べる貴重な体験の場です。もちろん日々の授業、部活の練習も貴重な体験です。いろいろなことをたくさん経験することは良いことです。しかし、それをそのままにいませんか？たださせられているだけになっていませんか？授業も部活の練習もなんと～く受ける、なんと～く練習する、これの繰り返しになっていませんか？いくら体験を積み重ねても、そこからなにも学ばなければ学習したことにはなりません、君らの身につけてはいません。君ら自身が一つ一つの体験の意味を考え、自分の中に消化してはじめて「学習」したとなるのです。最初の質問に戻ると学習率の高い人はどのような人か、それは多くの経験から多くのことを学び取った人です。

みなさんは全員平等に時間が与えられています。これを期に自分の授業の受けかた、日々の過ごし方を見直してみてください。いろいろな事に積極的に**チャレンジ**し、多くを**体験**し、そこから**多くのことを学べる**。そういう 55 期生になって欲しいと思います。

## センター試験まで50日！

～ きつときこそ前を向く！ It's the darkest before the dawn. ～

朝夕の冷え込みも徐々に厳しくなり、ようやく受験シーズンが刻々と近づきつつあるということを感じます。日没の時間も早くなり、登下校の時間は特に、吐く息も白く、寒さも身にしみる時期がやってきました。教室のカウントダウンの掲示も容赦なく数を減らしていきます。センター100日前に合わせてクラスでカウントダウンを作っていた頃からそんなに時間はたっていないのに、教室の空気も随分変わってきました。12月下旬の北予備ファイナルを残し、模擬試験も全て終了。10月以降に受験した模試の成績も次から次に返却されます。センター試験に向けて弾みを付けたいという気持ちは誰も持つものですが、大半の受験生の場合、そういう淡い期待は見事に裏切られます。11月末の進路検討会では、君たちの一人一人の学力と志望校を検討し、12月の三者面談で学年全体の意見が担任から伝えられます。厳しい現実を受け入れて、軌道修正しなければならぬこともあるかもしれません。受験生にとっては一番きつづくつらい時期でもあり、君たちの真価が問われる時でもあります。諦めて投げやりになるのか？ それとも、最後まで諦めずに食らいついていくのか？

### 「夜明け前が一番暗い」

この時期、なんの不安もなく毎日を楽しく過ごす受験生は、全国にいったいどれくらいいるのでしょうか？ 自分の理想に向かって頑張っていればいるほど、不安になるのは当然です。一生懸命努力しているのに結果が伴わない、つらい時期は誰にだってあります。そんなときは、クラスメイトとたわいもない話しをするのもよし、ローソンで温かいおでんを食べるのもよし。本当に気の置ける友人に自分の不安な気持ちを打ち明けてみるのもよし。適度な気分転換をしながら、なんとか前を向く努力をして下さい。大切なことは、「いつか状況は良くなる」と信じて、未来を見据えて「種を巻き続ける」ことです。そして、冬の厳しい寒さや、不安な気持ちに耐え抜いたとき、君たちは「志望校合格」という最高の瞬間を手に入れます。必ず夜明けはやってきます。苦しみに打ち克つための努力の分だけ喜びも大きいはず。ぜひ、自分自身を信じて耐えて下さい。不安に打ち克つためには、それを忘れるくらい集中して、ひたすら頑張るしかありません。

### <これから注意すべきこと>

初めて経験するセンター試験。本番が近づくとつれて緊張感が増してくるのは当たり前。本番直前になってから慌てないよう、今から準備できることは確実に実行しておこう。ちょっとした心がけ一つでできる、当たり前のことですが…。

#### (1) 休日も含めて、毎日の生活のリズムを崩さない

睡眠時間を削ったり、就寝時刻を遅くしたり、食事や息抜きの時間を減らしたりといったことは、悪影響を与えることが多い。絶対に避けよう。ただ、夜型から朝型へのシフトは必要。起床後、脳が本調子で動き始めるまで3時間かかると言われる。気持ちよく学習に向かうための、起床後の自分なりのルーティンをしっかりと確立しておきたい。

#### (2) 本番のシミュレーションをしておく

問題を解く際に制限時間を意識しながら解答するということは勿論、センター試験当日のタイムテーブルに即した生活のリズムを意識して生活することも大切。午後の授業で寝ぼけているとそれが習慣になってしまう。要注意！センター試験は文系と理系で若干異なるが、おおよそ、朝の9:30から夕方 18:10 までという長丁場。いかにして緊張感を持続させ、集中するかが重要になってくる。十分な備えをしておこう。

先が見えづらい苦しい状況の中で、悩みながらいろんなことを考えながら、君たちは、多くのことを学んでいきます。その本当の価値に気づくのはずっと先のこともかもしれません。今しか手に入れることのできない非常に貴重な経験です。逃げずになんとか前に進んでいって下さい。苦しい思いをしながら自分自身の目標に向かって一生懸命頑張っている君たち。高校生活も残すところあと3ヶ月。3学年に關係する職員も全員、精一杯応援させていただきます。頑張れ！